

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ5	出席委員数	4名
日時	平成21年10月 3日（土） 10時00分～12時00分		
場所	北方町役場第2会議室		
【協議事項】（テーマ等）			
○ コミュニティ活動			
次回開催日について			
○ 11月7日（土）午前10時から			
ー主要意見ー			
・ コミュニティ活動に対する自治体のスタンスは？ → ふれあい活動実施団体（自治会）には交付金を交付している。 持ち家率が低く人口流動の多い当町においては、人間関係が希薄化する傾向にあるため、住民同士がふれあう機会を創る必要がある。それにより、災害時等の共助にも役立つ。 不景気により、国・県からの補助金や町税が減収となる見込みであるため、今までと同様の事業の継続が困難となってくるものもある。そのため、町民が自主的に活動するような意識の醸成が必要となってくるのではないかと考える。 ・ コミュニティ活動には積極的に参加している。子どもの顔を覚えてもらうことにより、何かあった時に地域の人を頼りにできるかもしれない。また、親の顔、子どもの顔を知っていると注意もしやすくなる。 ・ 20年くらい前（子どもの時）は祭りの日は地域の人が集まって食事をし、夜になると商店街に行って祭りに参加していた。現在は、休日はプライベートを優先する人が多く、祭り会場に行ってもさびしい感じがする。 ・ これからの祭りやコミュニティ活動のターゲットは子どもであると思う。その子供の親世代（20～30代）の参加が少ないように思われる。また、コミュニティ活動の意思決定をする人が高齢者・年配者に偏っている気がする。意思決定する時に、若い人にどれだけかかわってもらえるかである。 ・ コミュニティ活動の意識を持っている人を集めて、声を大きくしていくとよい。 ・ コミュニティ活動の目的は、何か活動することにあるのではなく地域の人と交流する事にあるので、活動に際し過大な負担とならないような配慮がないと活動自体続いていかない。			

- ・ 子ども会の加入率が下がってきている要因として、以前は親がどこへも連れていけないから加入していたが、現在は親がどこへでも連れて行けるし、何か事故があったりするとすぐに責任問題に発展したりするためだと思う。また親が役員となることに敬遠する人も多いからであると思う。

次回協議事項

- 前回までのまとめ（総括）